

公益社団法人日本超音波医学会第 89 回学術集会 アジア超音波医学生物学会第 12 回学術集会 およびアジア造影超音波医学会第 8 回学術集会を終えて

日本超音波医学会第 89 回学術集会 会長
アジア超音波医学生物学学術連合第 12 回学術集会 会長
アジア造影超音波医学会第 8 回学術集会 会長
近畿大学医学部消化器内科学 主任教授
工藤 正俊

日本超音波医学会第 89 回学術集会を 2016 年（平成 28 年）5 月 27 日（金）～ 29 日（日）の 3 日間、京都国際会議場で開催させて頂きました。実は私、2010 年にも第 83 回学術集会を担当させて頂きましたので、この度の第 89 回学術集会は二度目の会長ということになります。この度、アジア超音波医学生物学会第 12 回学術集会の会長を仰せつかったことから従来からの申し合わせにより国内の日本超音波医学会学術集会会長も再度兼務させて頂くことになりました。このような機会をお与え頂きました日本超音波医学会理事会をはじめ関係各位に深く感謝申し上げます。

今回も前回および前々回の Ultrasonic Week を継承し、“Ultrasonic Week 2016”として開催致しました。日本超音波医学会、日本乳腺甲状腺超音波医学会、アジア超音波医学生物学会（AFSUMB）、アジア造影超音波医学会（ACUCI）の 4 つの学会が、同時開催という形で手をつなぎ、効率の良い実りある学術集会の場が提供できたのではないかと自負致しております。医学・技術の急速な進歩に伴う領域の細分化は超音波の世界でも例外ではなく、更なる進歩のためにはそれら多岐にわたる最先端の交流が必要不可欠と思われます。また、そのような交流を実現させるには、参加者およびご協力頂ける関連企業・団体の皆様の経済的、時間的負担を極力軽減する必要があります。これらの目的達成のためには、Ultrasonic Week のコンセプトは大変理にかなっております。そのため今回も“Ultrasonic Week 2016”として継承させて頂きました。

2010 年の第 83 回学術集会のメインテーマは「イノベーションからアートへ」と致しましたが、今回の学術集会のテーマは国際学会も 2 つ併催することも考え合わせ「Better World with 3US」とさせて頂きました。

まず最初の「US」は言うまでもなく Ultrasound です。救急の現場や初診では CT や MRI よりもまず先に超音波を行うことにより膨大な情報を非侵襲的に得ることができます（“Ultrasound 1st”）。アジアの国で CT や MRI が無い病院でも超音波があるだけでそれぞれの国民にとって良い国になることでしょう（Better World with Ultrasound）。

第二の「US」は我々自身（Ourselves = US）です。我々自身が超音波によってより良い国作りの一助となりたいとの気持ちを込めました（Better World with Us）。

第三の「US」は Ultimate Skill を意味します。超音波装置はどんどん進歩していますが、それに伴う我々自身の skill を磨かなければ良い装置も宝の持ち腐れです。また、たとえ古い装置でも skill があれば相当の情報が引き出せます。したがって、我々は「Ultimate Skill」を磨くために日々精進していかなければなりません（Better World with Ultimate Skill）。

そのような 3 つの思いを「US」に込めてメインテーマを「Better World with 3US」と致しました。

今回は国際学会 2 つと同時開催のため、JSUM、AFSUMB の Joint Symposium、パネルディスカッションなどの合同セッションは英語のみによる発表をして頂きました。また、多少のご批判もあったかとは思いますが、日本語の通常のセッションも医師についてはスライドは「原則として」英語にて作成、医師以外の検査士なども「可能な限り」英語にて作成して頂いたおかげで海外からの参加者にも積極的に JSUM のプログラムにも参加して頂けたと考えております。これは日本超音波医学会が国際化への第一歩を踏み出すにあたり非常に重要なことと考えております。各セッションでは、その場にふさわしい同じ専門性をも

表1 アジア超音波医学学会連合 (AFSUMB) の学術集會会長および理事長

学術集會	開催地	開催国	学術集會会長	理事長	任期
第1回 1987年	東京	日本	和賀井敏夫	和賀井敏夫	1987-1989
第2回 1989年	パリ	インドネシア	Willyarto Wibisono	Willyarto Wibisono	1989-1992
第3回 1992年	ソウル	韓国	Chu-Wan Kim	Chu-Wan Kim	1992-1995
第4回 1995年	北京	中国	Jian-Fan Ren	Hsi-Yao Chen	1995-1998
第5回 1998年	台北	台湾	Hsi-Yao Chen	渡邊 洸	1998-2001
第6回 2001年	クアラルンプール	マレーシア	S. Raman	Kittipong Vairoji	2001-2004
第7回 2004年	宇都宮	日本	伊藤紘一	Byung Ihn Choi	2004-2007
第8回 2007年	バンコク	タイ	Wilaiporn Bhothsuwan	Chiang	2007-2010
第9回 2010年	ニューデリー	インド	CV Vanjani	谷口信行	2010-2012
第10回 2012年	パリ	インドネシア	Daniel Makes	Seung Hyup Kim	2012-2014
第11回 2014年	クアラルンプール	マレーシア	TP Baskaran	Yi-Hong Chou	2014-2016
第12回 2016年	京都	日本	工藤正俊	工藤正俊	2016-2018

つメンバーが参加して、十分なディスカッションをすることができました。また、内容の重複も少なくできたものと考えます。

お陰様で今回の学会は入場者数が5,600名を超える参加者となり、想定以上の参加者数を得ることができました。また、参加者は日本人の他に欧米（米国、ドイツ、カナダ、イギリス、フランス、ノルウェー、オーストラリア、ニュージーランド、イタリア）アジア（バングラディッシュ、カンボジア、台湾、香港、インド、インドネシア、韓国、モンゴル、マレーシア、シンガポール、タイ、フィリピン、中国、パキスタン、ネパール）の計25か国でした。

この度の学会は丁度 AFSUMB 創立 30 周年記念 (表 1) であったということから、AFSUMB 30 周年記念式典および Ultrasonic Week 2016 のオープニングセレモニーには高円宮妃殿下にご来臨頂きお言葉を頂くことができました (図 1-9)。高円宮妃殿下にご臨席を頂いたことは超音波医学の研究、診療、教育に携わるものとしては何物にも代え難い喜ばしい出来事であると感謝致しております。高円宮妃殿下には5月27日のオープニングセレモニーにご臨席を頂いた後、超音波装置の機器展示場にお越し頂き、約1時間の間、新しい超音波装置の進歩について見学をされました (図 10-17)。高円宮妃殿下は特にエラストグラフィ、Fusion imaging、造影エコー、末梢血管の高周波エコー、乳房の最新のエコー、胎児の4Dエコー、携帯型のポケットエコーに特に興味を持たれておりました。

また、その後、世界超音波医学会 (WFUMB) ならびに AFSUMB の理事メンバー、日本超音波医学会 (JSUM) の歴代の理事長・理事とともに昼食をは

さみながら現在の医療における超音波の果たす役割など様々な話題について意見交換を行うことができました (図 18, 19)。大変充実した昼食会になったと思われました。高円宮妃殿下は11時からのオープニングセレモニーの後、展示場見学、昼食会と会場およびグランドプリンスホテルに滞在され、午後3時頃に京都国際会館を後にされました。オープニングセレモニーの登壇者メンバーは別表 (図 20) に示す如く、招待者として WFUMB の現在の理事長である Prof. Harvey L. Nisenbaum をはじめヨーロッパ超音波医学会 (EFSUMB) 理事長 Prof. Odd Helge Gilja、AFSUMB 理事長 Prof. Yi-Hong Chou、オーストラリア・ニュージーランド超音波医学会 (ASUM) 理事長 Prof. Susan Campbell Westerway、米国超音波医学会 (AIUM) 理事長代理 Prof. Jacques S. Abramowicz をはじめ超音波医学会の COE (Center of Education) の Director である Prof. Byung Ihn Choi (前 AFSUMB 理事長) と SH Kim AFSUMB 前理事長、京都府知事山田啓二様、京都市市長 門川大作様が出席をされ



図1 京都国際会館に到着された高円宮妃殿下をお迎える工藤正俊会長、古川まどか会長、谷口信行副理事長

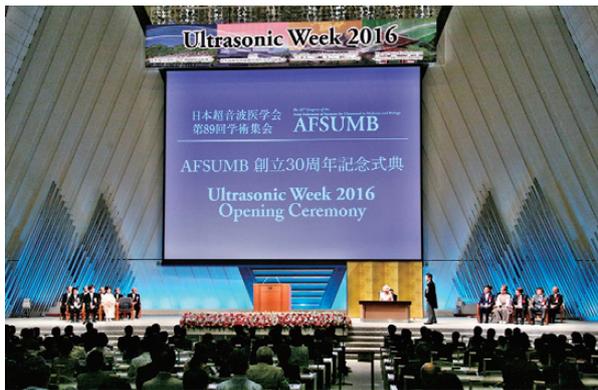


図2 AFSUMB30周年記念式典ならびに Ultrasonic Week 2016 Opening Ceremonyの様子

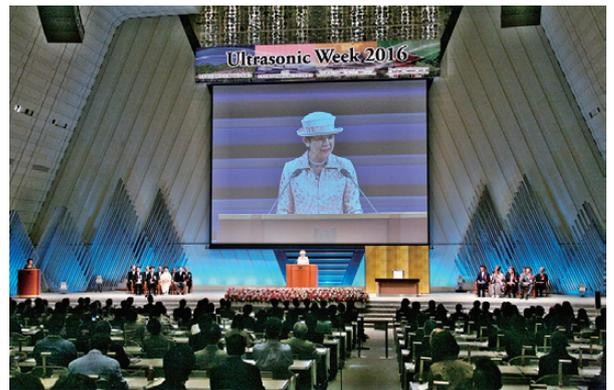


図6 高円宮妃殿下のお言葉と会場内の様子



図3 主催者である工藤正俊会長が開会の挨拶



図7 主催者側の登壇者



図4 高円宮妃殿下ご臨席



図8 来賓者側の登壇者



図5 高円宮妃殿下のお言葉



図9 Opening ceremonyの後 高円宮妃殿下と談笑



図 10 展示会場にお連れする廊下で



図 14 心臓超音波にも興味を持たれていた



図 11 日立の Elastography や fusion imaging をご説明しているところ



図 15 東芝の装置に食い入るように見られている姿が印象的であった



図 12 高円宮妃殿下は大変興味を持ち、食い入るように fusion imaging と Elastography をご覧になっていた



図 16 GE の展示ブースでも熱心に乳房および携帯型超音波も見られていた



図 13 後ろに門川大作京都市長もご覧になっていた



図 17 会場を後にするところ



図 18 世界超音波医学会の理事会メンバーならびにアジア超音波医学会の歴代の理事長と日本超音波医学会との昼食会（千田元理事長よりご挨拶）



図 19 高円宮妃殿下を囲んでの昼食会（岡井元理事長よりご挨拶）

オープニングセレモニー 式次第







日本超音波医学会第 89 回学術集会 (89th JSUM)
第 36 回日本乳癌甲狀腺超音波医学会学術集会 (ASBT36)
アジア超音波医学学生物学会第 12 回学術集会 (12th AFSUMB)
アジア遠隔超音波会議第 8 回学術集会 (8th AUCI)

30th Years Anniversary of AFSUMB and
Ultrasonic Week 2016 Opening Ceremony
Date: May 27 (Fri), 2016
Time: 11:00 am~12:00 noon
Place: Main Hall, Kyoto International Conference Center

AFSUMB 30 周年記念式典ならびに
Ultrasonic Week 2016 Opening Ceremony
2016 年 5 月 27 日 11:00~12:00
メインホール、国立京都国際会館

主催者挨拶 工藤 正俊 (日本超音波医学会 理事長・アジア超音波医学学生物学会 次期理事長)
日本超音波医学会 第 89 回学術集会 会長
アジア超音波医学学生物学会 第 12 回学術集会 会長
アジア遠隔超音波会議第 8 回学術集会 会長

日本超音波医学会 55 年の歩み
アジア超音波医学学生物学会 30 年の歩み

おことば 高円宮妃殿下

来賓挨拶 世界超音波医学会 理事長 Harvey L. Nissenbaum
ヨーロッパ超音波医学会 理事長 Odd Helge Gilja
アジア超音波医学学生物学会 理事長 Yi-Hong Chou
オーストラリア・ニュージーランド超音波医学会 理事長 Susan Campbell Westerway

米国超音波医学会 理事長代理 Jacques S. Abramowicz

京都府 加事 山田 啓二
京都市 市長 門川 大作

ごあいさつ 安倍内閣 官房副長官 萩生 弘成

閉会の言葉 古川まどか (第 36 回日本乳癌甲狀腺超音波医学会学術集会 会長)

DVD 上映

Center Masatoshi Kudo, MD, PhD
President, Japan Society of Ultrasonics in Medicine (JSUM)
President-elect, Asian Federation of Societies for Ultrasound in Medicine and Biology (AFSUMB)
Congress President, The 89th Annual Meeting of JSUM
Congress President, The 12th Annual Meeting of AFSUMB
Congress President, The 8th Annual Congress of ACUI

55 years History of JSUM
30 years History of AFSUMB

Respectful Address HER IMPERIAL HIGHNESS PRINCESS TAKAMADO

Congratulatory Addresses
Harvey L. Nissenbaum President of WFUMB
Odd Helge Gilja President of EFSUMB
Yi-Hong Chou President of AFSUMB
Susan Campbell Westerway President of ASUM
Jacques S. Abramowicz Representative of AIUM
Keiji Yamada Governor of Kyoto Prefecture
Daisaku Kadokawa Mayor of Kyoto City

Message Mr. Hiroshige Seko
Deputy Chief Cabinet Secretary, The Shinzo Abe Cabinet

Closing Address Madoka Furukawa, MD, PhD
Congress President, The 36th Meeting of Japan Association of Breast and Thyroid Sonology

DVD show

図 20 オープニングセレモニーの式次第



図 20 オープニングセレモニーの式次第

表 2 Ultrasonic Week 2016 セッション / 演題数一覧

JSUM 単独	セッション数	演題数	合同セッション		セッション数	演題数
シンポジウム	20	120	シンポジウム	JSUM・JABTS 共同企画	3	15
パネルディスカッション	15	84		JSUM・AFSUMB・ACUCI Joint Session	1	6
ワークショップ	10	56		JSUM・AFSUMB・JABTS Joint Session	3	14
奨励賞	6	25		JSUM・AFSUMB Joint Session	3	16
一般演題 (Oral)	68	410		合同シンポジウム 小計	10	51
一般演題 (Poster)	32	179	パネルディスカッション	JSUM・JABTS 共同企画	5	29
AFSUMB 単独	セッション数	演題数		JSUM・AFSUMB・ACUCI Joint Session	1	7
指定演題	8	51		JSUM・AFSUMB・JABTS Joint Session	0	0
一般演題 (Oral)	8	46		JSUM・AFSUMB Joint Session	5	31
一般演題 (Poster)	20	171		JSS との共同企画	1	6
ACUCI 単独	セッション数	演題数	ワークショップ	合同パネルディスカッション 小計	12	73
				JSUM・JABTS 共同企画	1	5
				JSUM・AFSUMB Joint Session	3	18
指定演題	7	21	合同ワークショップ 小計	4	23	
一般演題 (Oral)	2	12	ハンズオン	JSUM・JABTS 共同企画	1	
一般演題 (Poster)	2	12	AFSUMB/ACUCI	AFSUMB/ACUCI 合同セッション	1	5

ました。また主催者側としては私（工藤正俊）と古川まどか先生（日本乳腺甲状腺超音波医学会会長）、谷口信行、椎名 毅両 JSUM 副理事長、渡邊 決前 WFUMB/AFSUMB/JSUM 理事長、千田彰一 AFSUMB 元副理事長 / JSUM 元理事長、岡井 崇 JSUM 元理事長、蜂屋弘之財務担当理事、廣岡芳樹経済担当理事が出席しました。

開会式ではアナウンサーがオープニングを宣言した後、私から開会にあたっての式辞を述べさせていただきました。その後順次、司会役から登壇者の紹介が一通りなされた後、高円宮妃殿下に入場して頂き、

お言葉を賜ることができました。流暢な英語で大変に素晴らしい祝辞を賜ることができたと思っております。また安倍内閣官房副長官 世耕弘成議員（現、経済産業大臣）からも祝辞を賜りました。最後には Ultrasonic Week 2016 の記念ビデオを放映し、会を終了致しました。高円宮妃殿下のお言葉の中には、東日本大震災ならびに熊本大震災に際して援助の手を差し伸べて頂いたたくさんのアジアの国々の方に謝意を表すお言葉も述べられておりました。また超音波についてはご自分の子供様が小さいときに三次元、四次元超音波で顔を見たときの感動も語っておられ、

超音波は簡便で安全であることにも触れられ、この領域にも大変造詣が深いことも示されておられました。そのようなことから展示場においても高円宮妃殿下は超音波の最近の進歩に対しても大きな興味を示されているのが印象的でした。私も精一杯お供をしてお答えしました。また、昼食会場ではざっくばらんなお人柄で多くの人たちと懇親を深めることができました。

肝心のプログラムについては日本超音波医学会とAFSUMBとの合同シンポジウムが10セッション、合同パネルディスカッションが12セッション、合同ワークショップが4セッションと多数ありましたが、どの会場も満員の盛況でした。JSUM単独のシンポジウム、パネルディスカッション、ワークショップは計45セッションでありました(表2)。今回のUltrasonic

WeekではJABTSを除き合計1,339題の応募を頂き、大変盛況裡に終えることができました。また、会期の1日前からはアジア造影超音波医学会(ACUCI)を開催しました。Social programも5月26日にはグランドプリンスホテル京都においてPresidential Dinner、2日目には曼殊院門跡寺院にてFaculty Dinner、3日目はファイアースイドトークにて多くの会員との全体懇親会を行いました。Presidential Dinnerでは近大マグロを1頭、3日目のファイアースイドトークでも近大マグロを2頭提供させて頂きました。この完全養殖マグロは日本人参加者のみならず海外参加者の先生方にも大変好評でありました。

以上、第89回日本超音波医学会学術集会ならびにUltrasonic Week 2016の報告を中心に述べさせて頂きました。